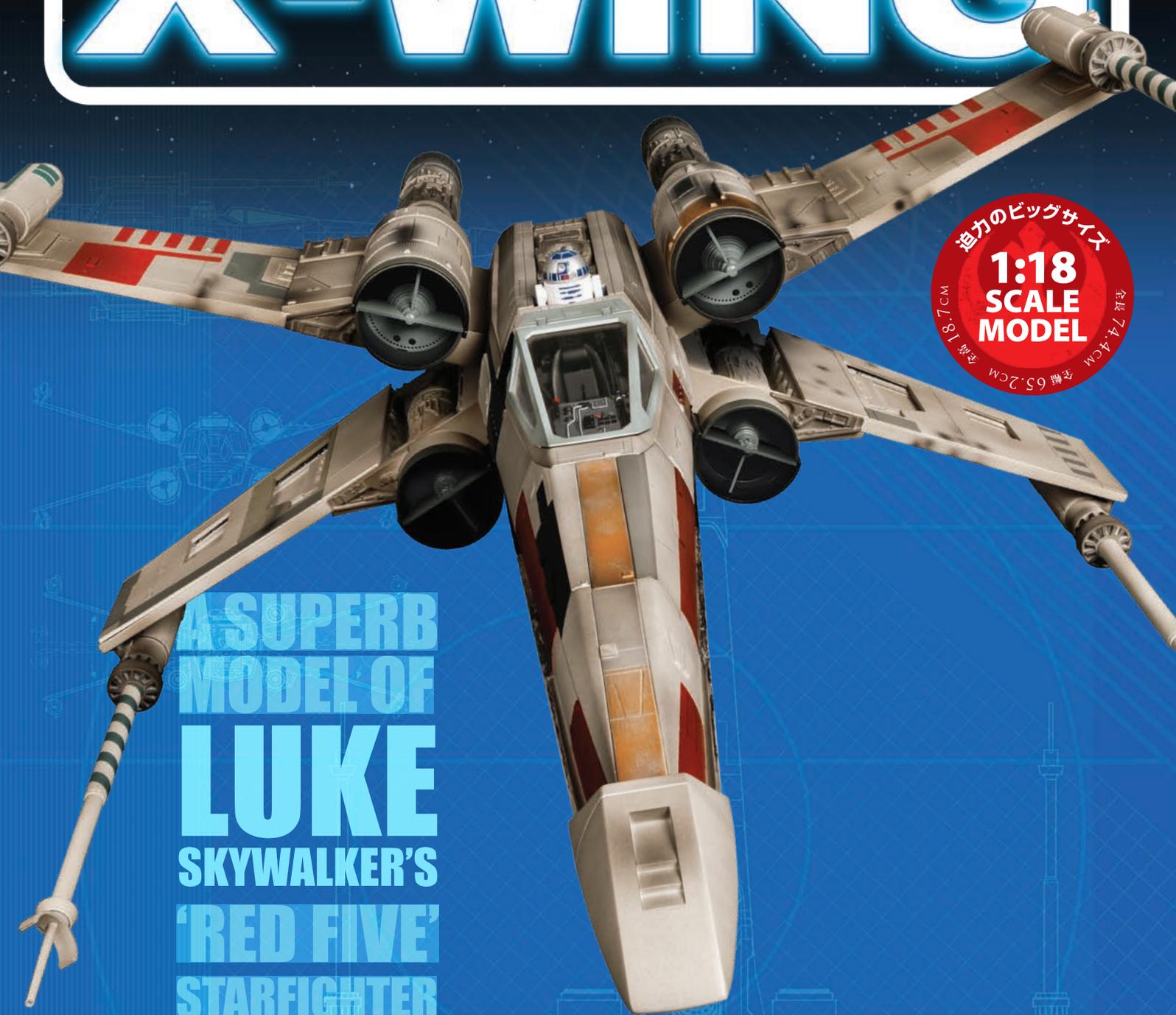


STAR WARS™

8

BUILD YOUR OWN

X-WING



迫力のビッグサイズ
1:18
SCALE
MODEL
全長 74.4cm
全幅 65.2cm
全高 18.7cm

A SUPERB
MODEL OF
LUKE
SKYWALKER'S
'RED FIVE'
STARFIGHTER



DEAGOSTINI

第8回配本 組立内容

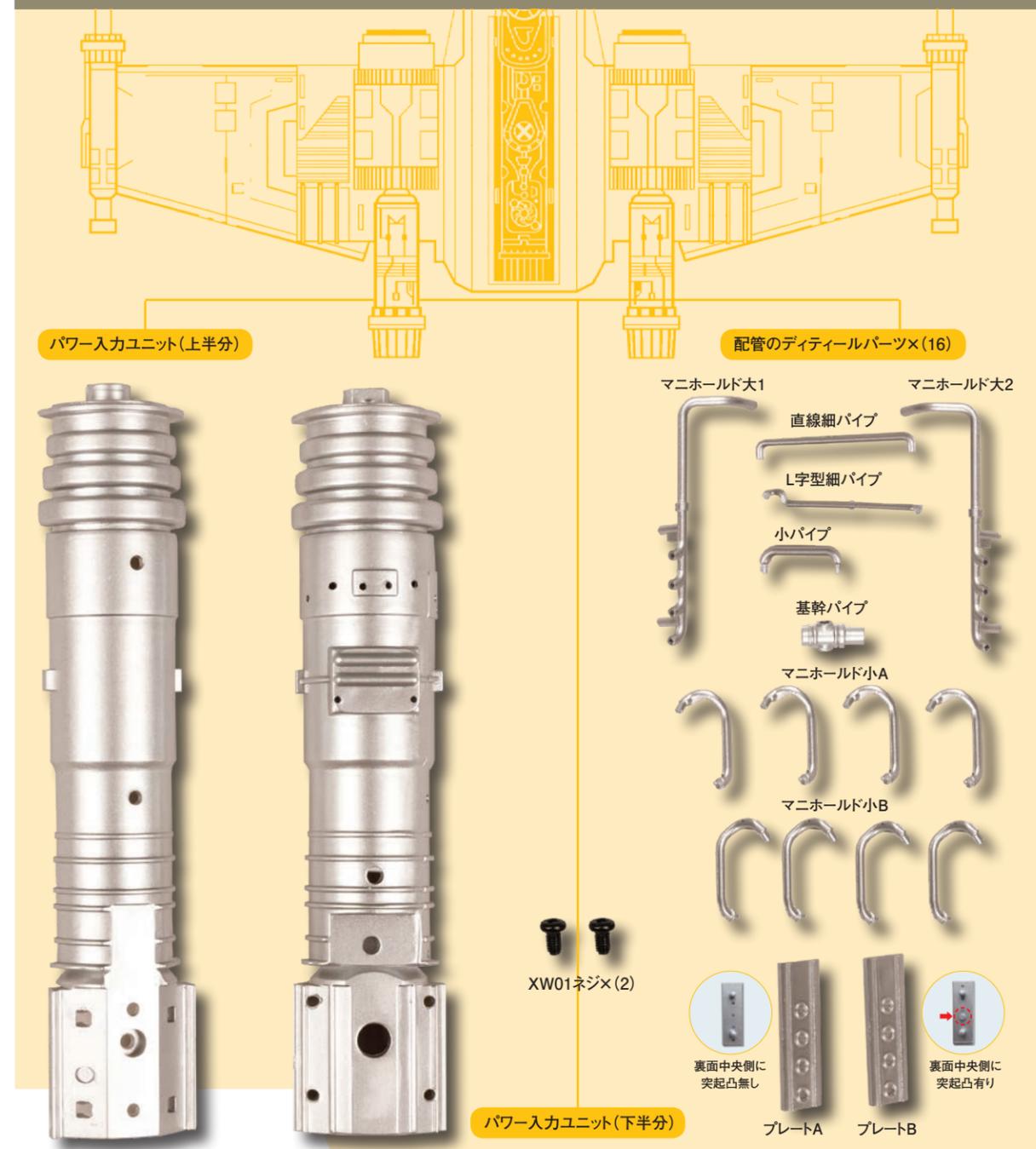
STAGE 29	左舷下翼エンジン④.....	158
STAGE 30	左舷下翼.....	168
STAGE 31	左舷下翼②.....	174
STAGE 32	右舷下翼レーザーキャノン①.....	180

左舷下翼エンジン

このステージではパワー入力ユニットを完成させ、左舷下翼にフューリアルスラストエンジン全体を取り付ける。
ステージ 29 の提供パーツが揃っているかを確認し、それぞれが X ウィングのどの部分を構成するのかを見てみよう。

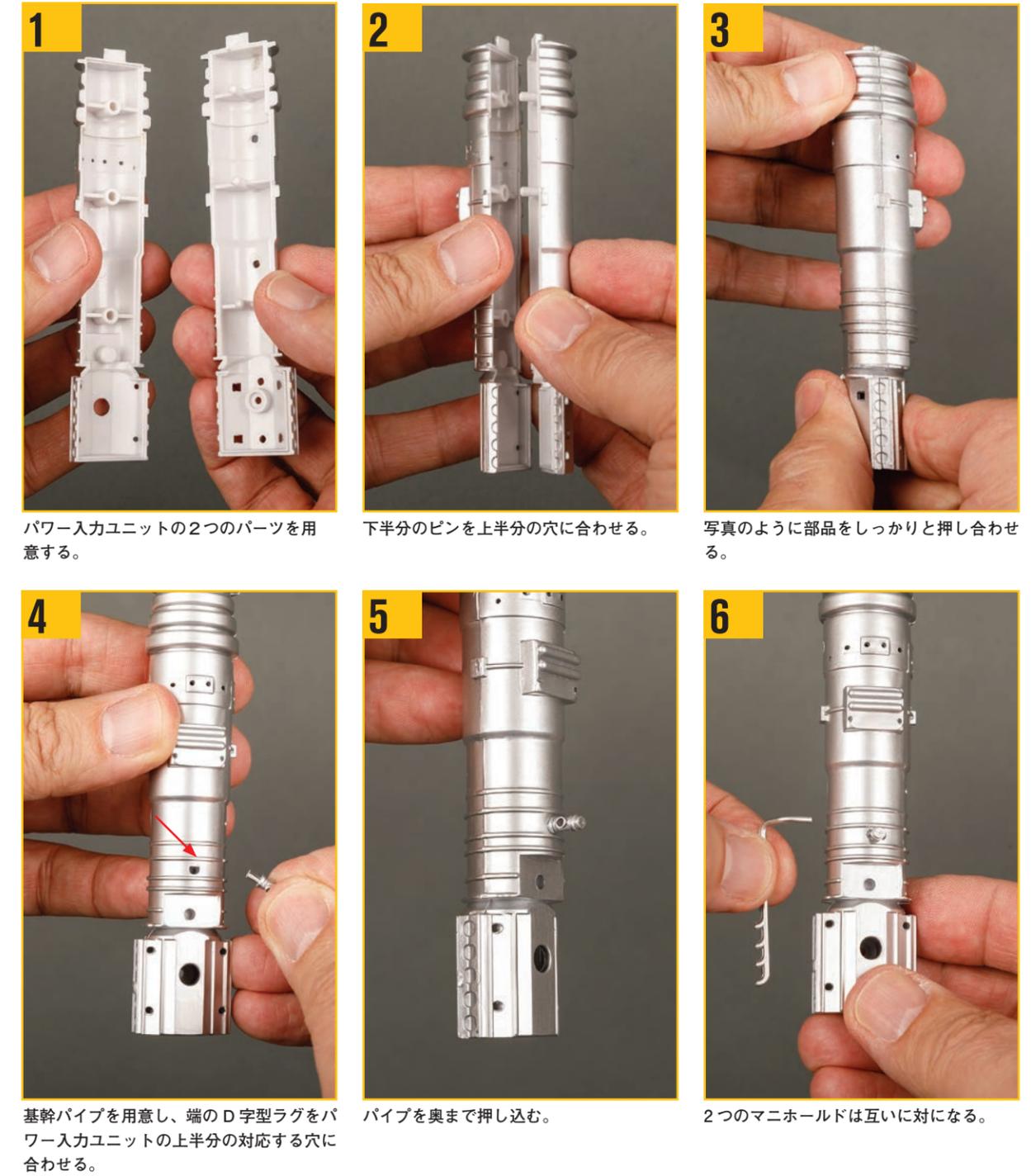
ステージ29の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれが X ウィングのどの部分を構成するのかを見てみよう。



パイプワークの取り付け

円筒形のパワー入力ユニットの 2 つを結合し、すべての外部パイプを追加する。すべての部品は、所定の位置に押し込まれる。



1 パワー入力ユニットの2つのパーツを用意する。

2 下半分のピンを上半分の穴に合わせる。

3 写真のように部品をしっかりと押し合わせる。

4 基幹パイプを用意し、端のD字型ラグをパワー入力ユニットの上半分の対応する穴に合わせる。

5 パイプを奥まで押し込む。

6 2つのマニホールドは互いに対になる。



7 マニホールド大1をステップ5のパイプの穴に端を合わせる。



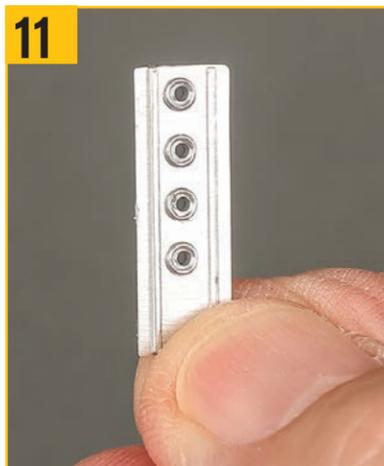
8 マニホールドのもう一方の端にある2つのピンを、パワー入力ユニットの上半分の穴に取り付ける。



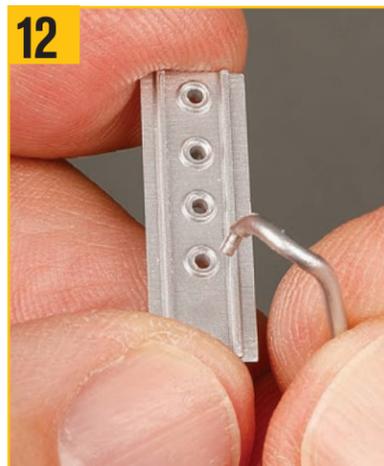
9 マニホールド大2もステップ6~8を繰り返す。



10 組み立て後は写真のようになる。



11 プレートA(裏面にピン2本で突起凸が無いプレート)を取りだす。



12 マニホールド小Aのうち、最初のパイプをプレートAの端の穴に取り付ける。



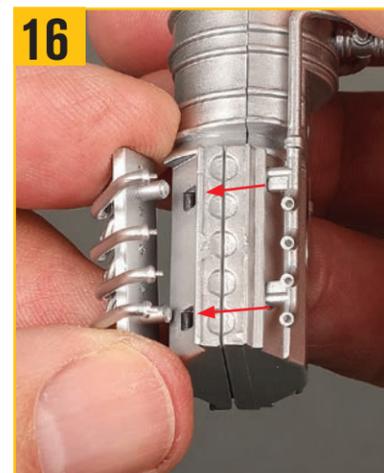
13 同じように曲線を描くよう取り付ける。



14 他の2本のマニホールド小Aを取り付ける。



15 組み立て後は写真のようになる。



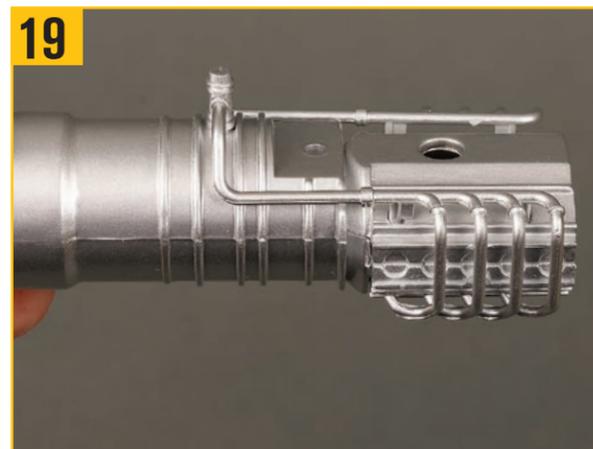
16 部品の背面にある2つの大きなピンを、パワー入力ユニットの下半分の四角い穴に合わせる。



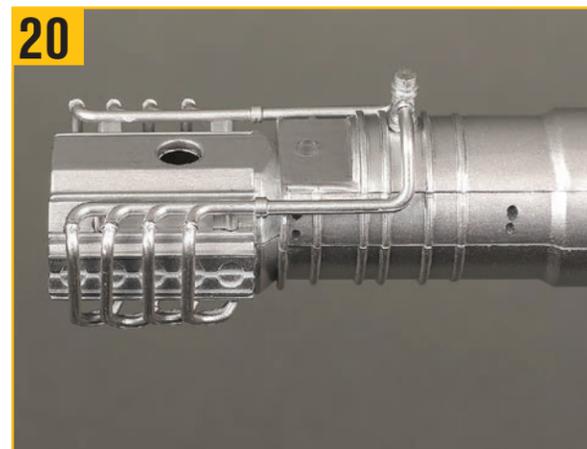
17 ピンを写真の位置に押し込む。



18 4つのパイプすべての端のピンを、マニホールド大の穴に合わせて取り付ける。



19 配管は写真のようになる。



20 手順11~19を繰り返し、プレートBとマニホールド小Bを組み立て、パワー入力ユニットの反対側に取り付ける。



21 小パイプを取り、パワー入力ユニットの上半分の2つの穴に両端のピンを取り付ける。



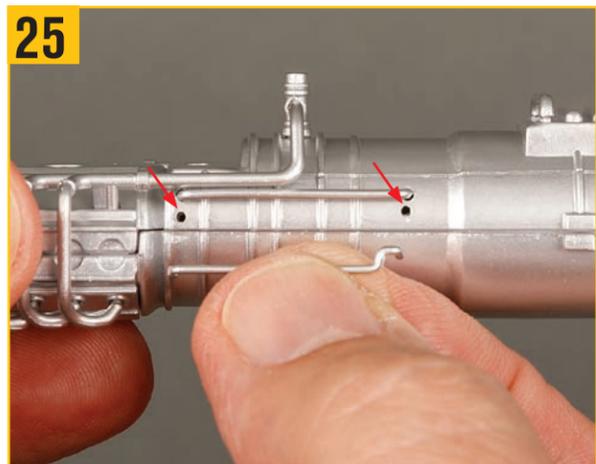
22 部品をしっかりと押し込み、平らに収まるようにする。



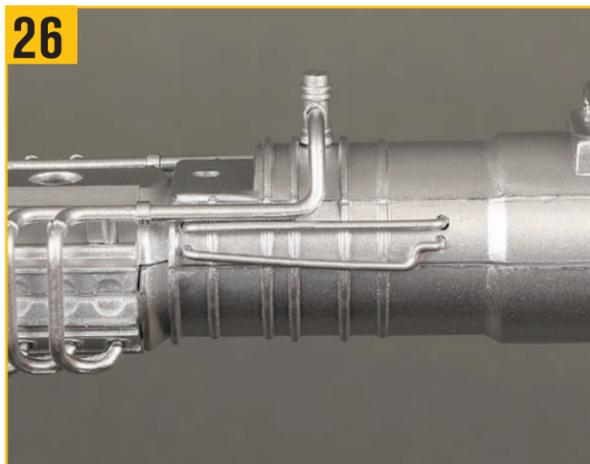
23 直線細パイプは、写真の矢印で示された穴に収まる。



24 部品をしっかりと押し込む。



25 L字型細パイプは、写真の矢印で示された穴に収まる。



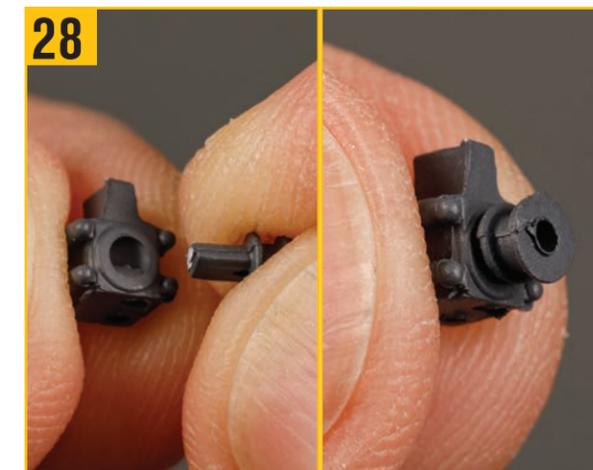
26 写真のようにしっかりと押し込む。



パワーユニットは写真のようになる。



27 前のステージで提供された写真の部品を用意する。



28 小さいディテールパーツの1つのD字型のラグを、大きなディテールパーツの対応する穴に合わせ、しっかりと押し込む。他の2つの部品でもこれを繰り返す。



29 写真のように2つの穴があるディテールパーツを用意し、背面の四角いピンを隔壁の右側の穴に押し込む。



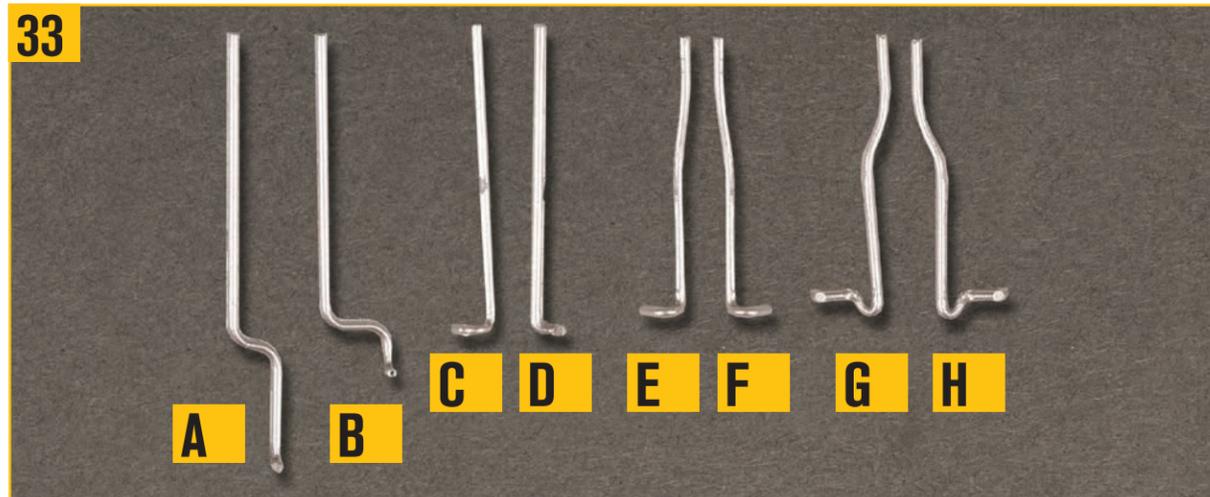
30 組み立て後が写真のようになるように、隔壁の反対側に他のディテールパーツを取り付ける。



31 内部隔壁の大きなD字型の穴に、パワー入力ユニットの端にある対応するラグを合わせる。



32 写真のようにパーツをしっかりと押しこむ。



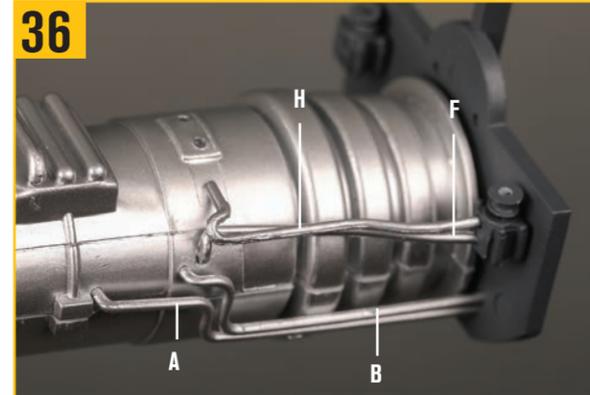
33 前のステージで提供されたディテールパーツを写真を見て8つの配管を識別する。



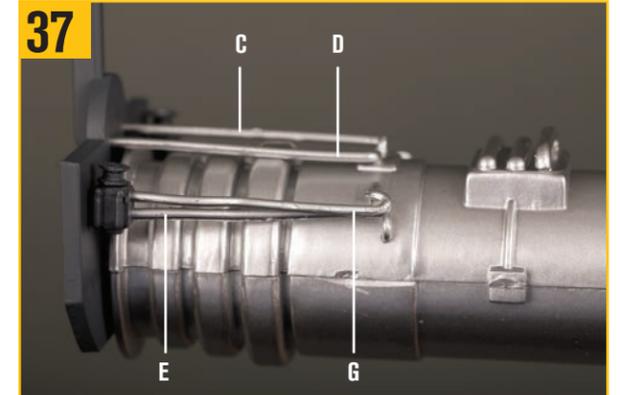
34 配管 A の端を隔壁の写真の穴にまっすぐ取り付ける。ピンセットを使うと作業しやすい。



35 配管Aのもう一方の端のピンを、パワー入力ユニットの写真の穴に取り付ける。



36 この写真を参考にして、同様の方法で配管 B、F、および H を取り付ける。



37 写真のようにパワー入力ユニットの反対側に配管 C、D、E、G を取り付ける。



38 写真の細い配管を取り、両端をこれらの2つの穴に合わせる。



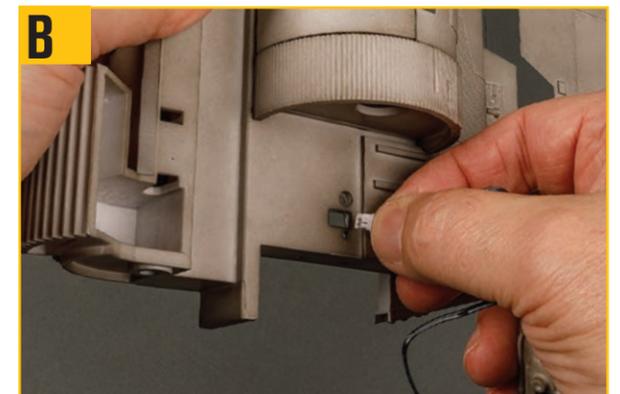
39 部品をしっかりと押し込む。

エンジンの取り付け

フュージアルスラストエンジンの後部をエンジンマウントに取り付け、翼の下に照明効果のための配線を取り付ける。



A ステージ 27 からフュージアルスラストエンジンと XW02 ネジを用意する。



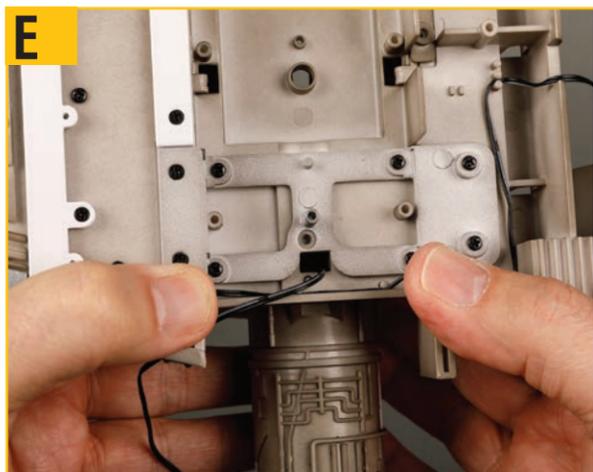
B エンジンの照明効果のためにリード線の端のプラグを取り、エンジンマウントの写真の穴に差し込む。



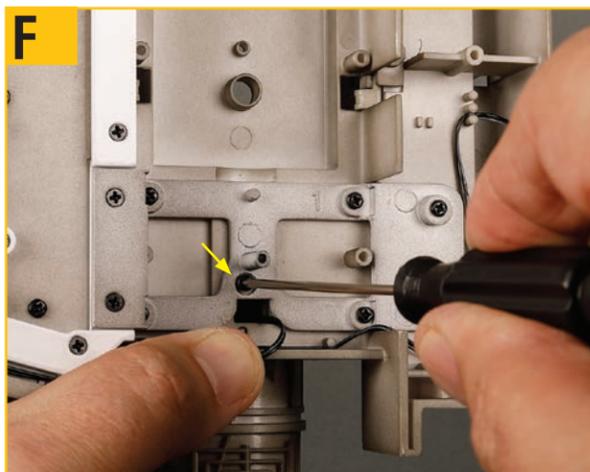
C リード線を穴に通し、エンジンの取り付け穴と位置決めピンをマウントの対応する穴に合わせる。



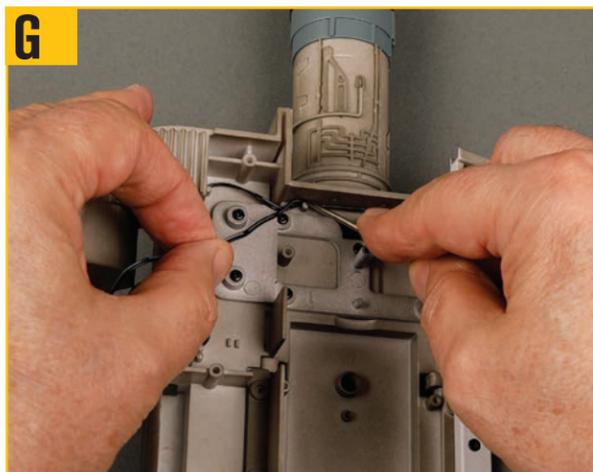
D エンジンを写真の位置に押し固定する。



E 部品を裏返す。



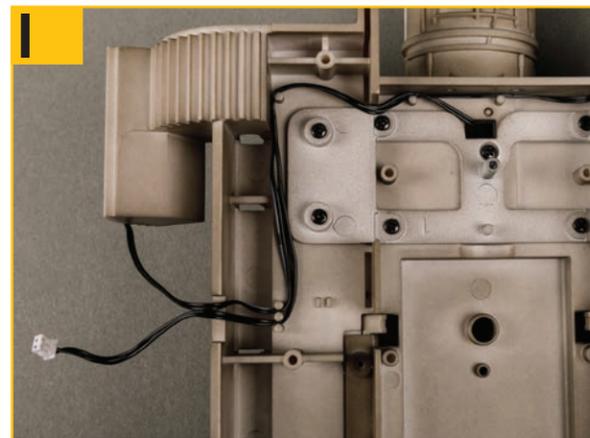
F エンジンを写真の位置に固定するには、矢印の穴にXW02ネジを締める。



G 写真のピンの周りにエンジンからワイヤーを送る。



H ワイヤーを角に押し込み、次のピンを回る。



I ワイヤーをレーザーキャノン砲のワイヤーと平行に走らせ、翼の根元近くにある3本のピンのもう一方の隙間に通す。



J 13ページで完成したパワー入力ユニットを用意し、写真のように揃える。

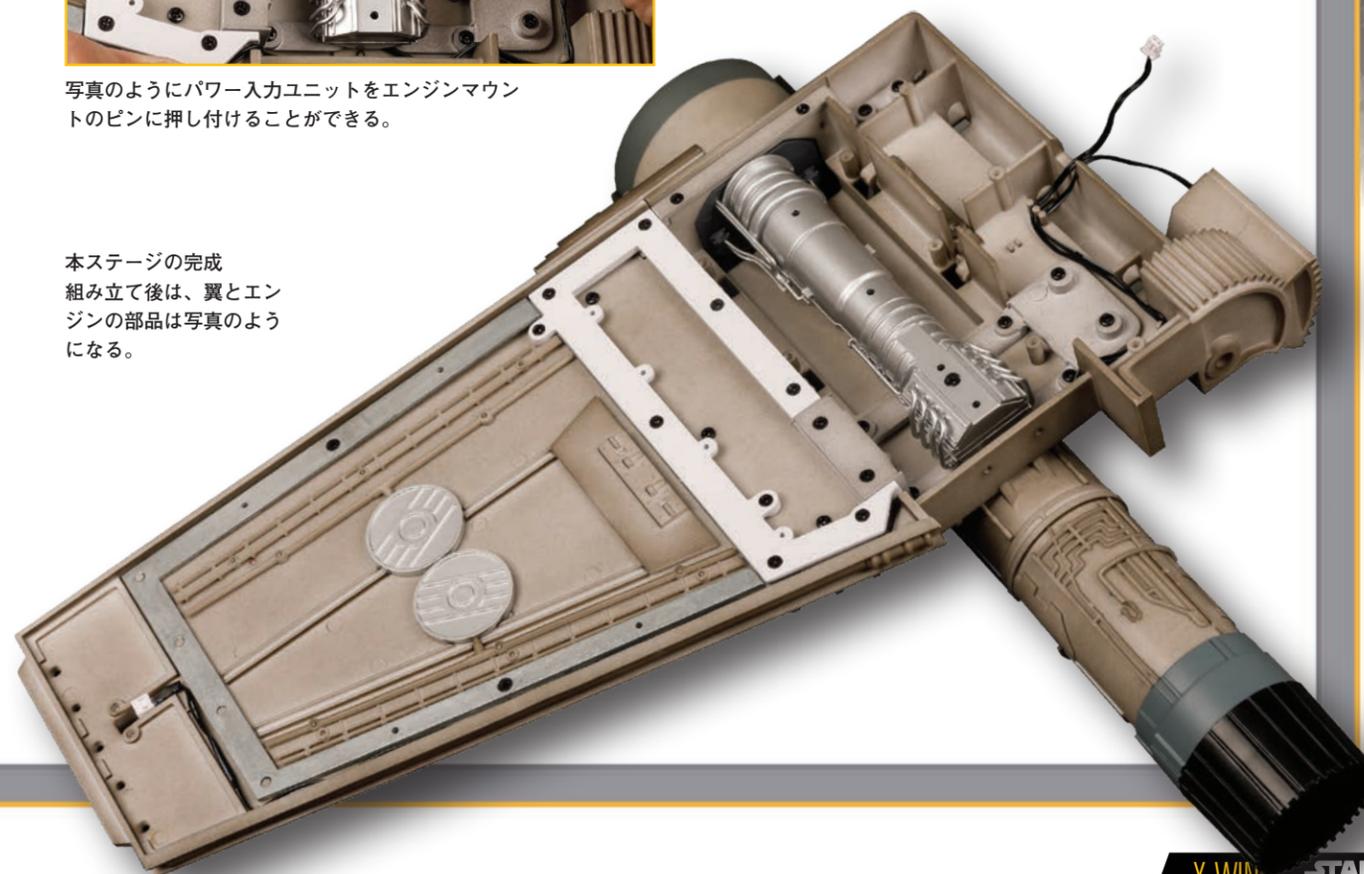


K 写真のようにパワー入力ユニットをエンジンマウントのピンに押し付けることができる。



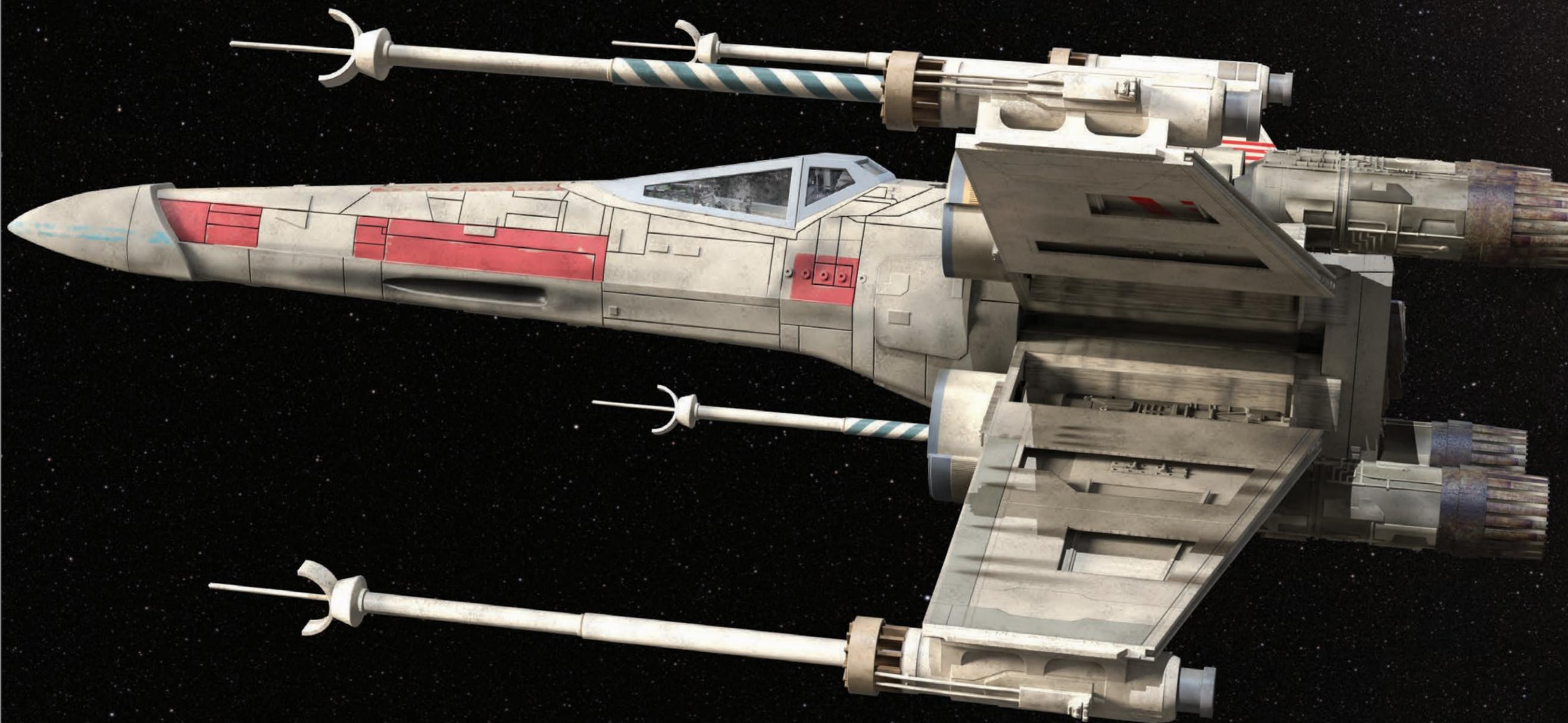
L XW01ネジで部品を固定する。

本ステージの完成
組み立て後は、翼とエンジンの部品は写真のようになる。



Sフォイル

もともと、Sフォイルは、エンジンと兵器システムの近くの過度な熱蓄積によって引き起こされるシャットダウンを容易に引き起こす翼ベースのスターファイターの過熱を防ぐために開発された。後の船では、設計者は可変ジオメトリを利用して、翼端近くに搭載された兵器からの射界を広げた。

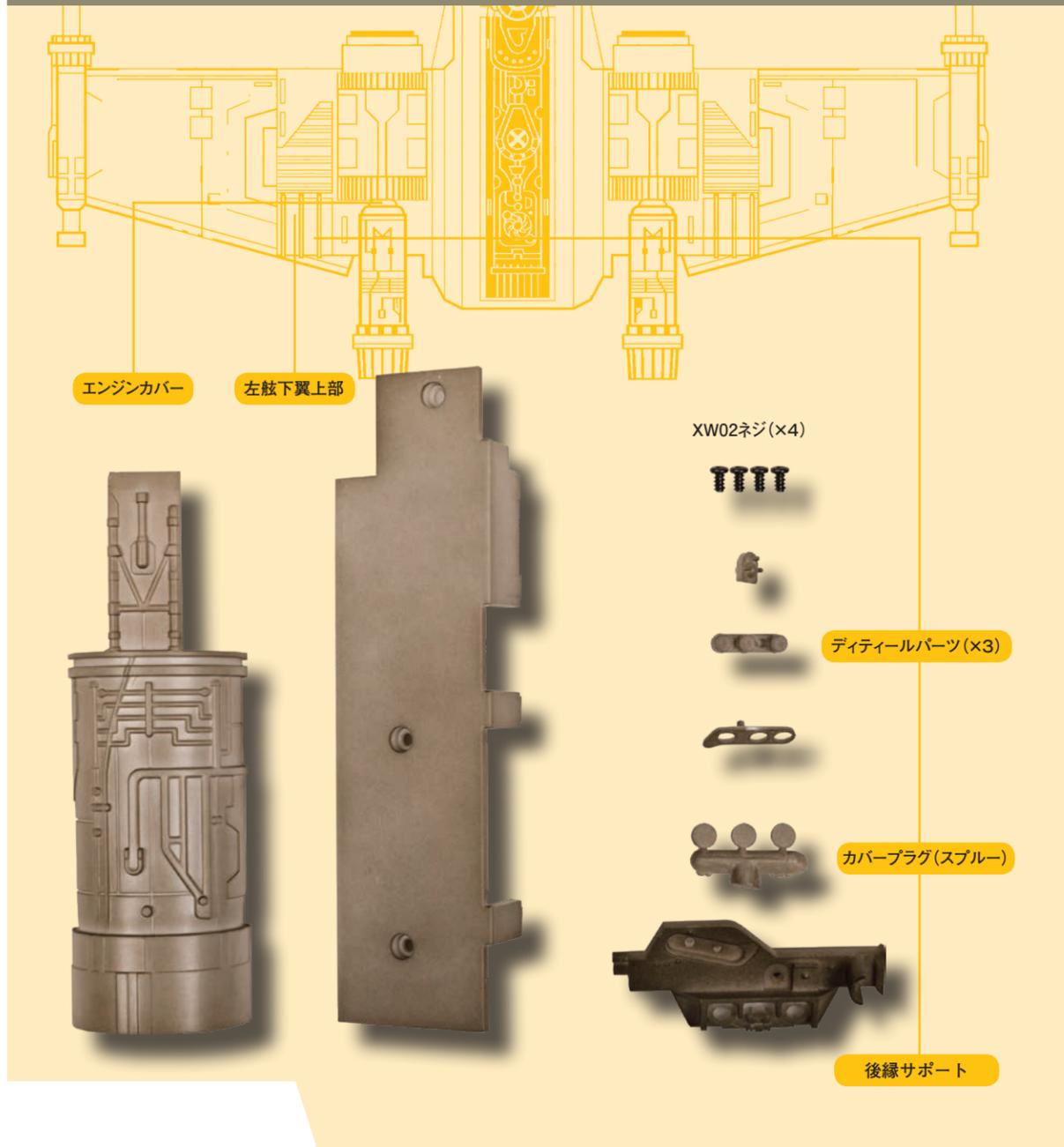


左舷下翼

このステージの主な部品は、左舷下翼の上部の凹部に収まるエンジンカバーだ。また、エンジンの内側の翼を覆う左舷下翼上部の一部と、エンジンマウントの後縁の周りに収まるディテールパーツである。

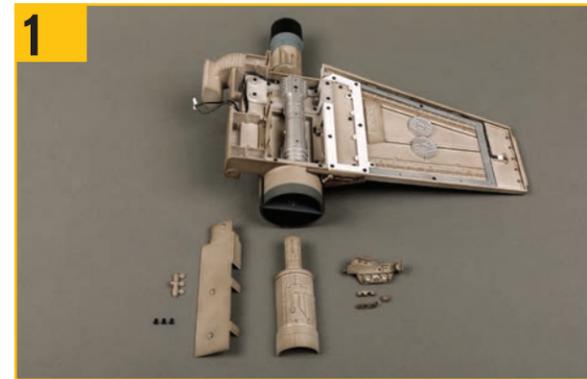
ステージ30の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。



翼の組み立て

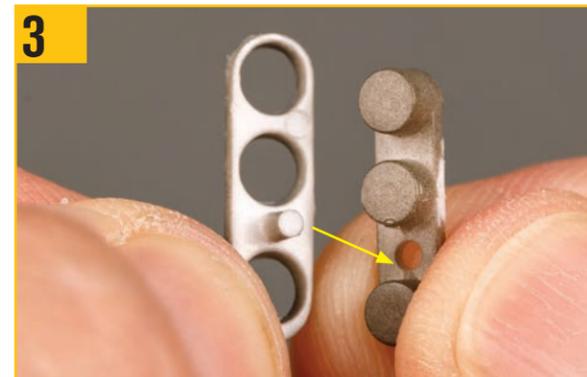
提供される部品はすべてこのステージで使用される。翼の根元と電気配線を覆う左舷下翼上部を取り付ける前に、サブライトエンジンの周りのくぼみを装飾する。



前のステージで組み立てたエンジンカバー、左舷下翼上部そして提供されたすべてのほかの部品を用意する。



写真の2つのディテールパーツから始める。



位置決めピンが対応する穴に入るように、写真のように部品を合わせる。



写真のように部品をしっかりと押し込む。



2つの位置決め穴がある後縁サポートの対応する凹部に部品をしっかりと押し込む。



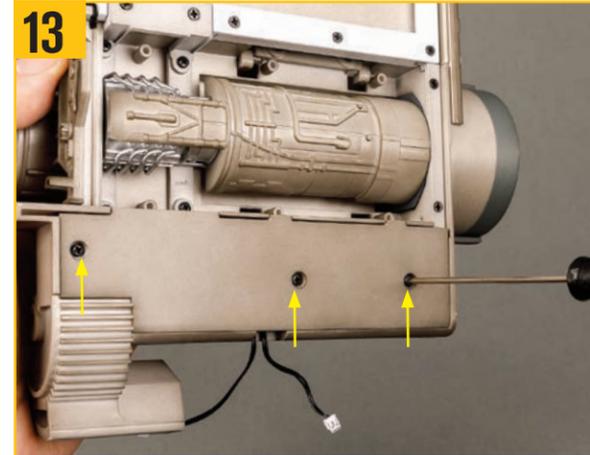
小さなD字型のディテールパーツのピンを、位置決め穴のある写真の一致する凹部に押し込む。



7 組み立て後は写真のようになる。



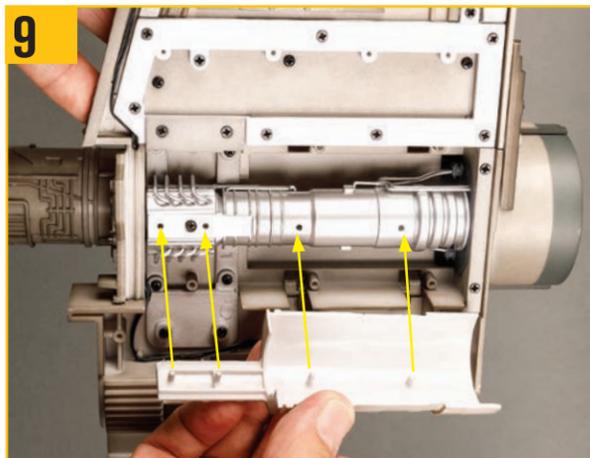
8 写真のようにエンジンマウントの背面に収まる。



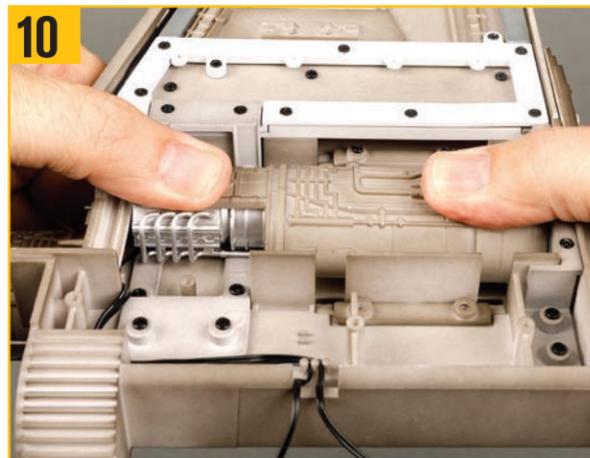
13 写真の3つの穴にXW02ネジを締めて上部を固定する。



14 3つのカバープラグをスプルーから分離させる。



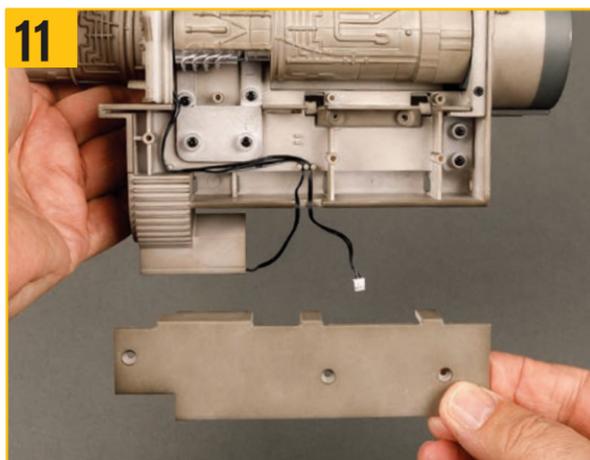
9 エンジンカバーを開けて、4つの取り付け穴をパワーユニットの対応する穴に合わせる。



10 カバーを写真の位置に押し込む。



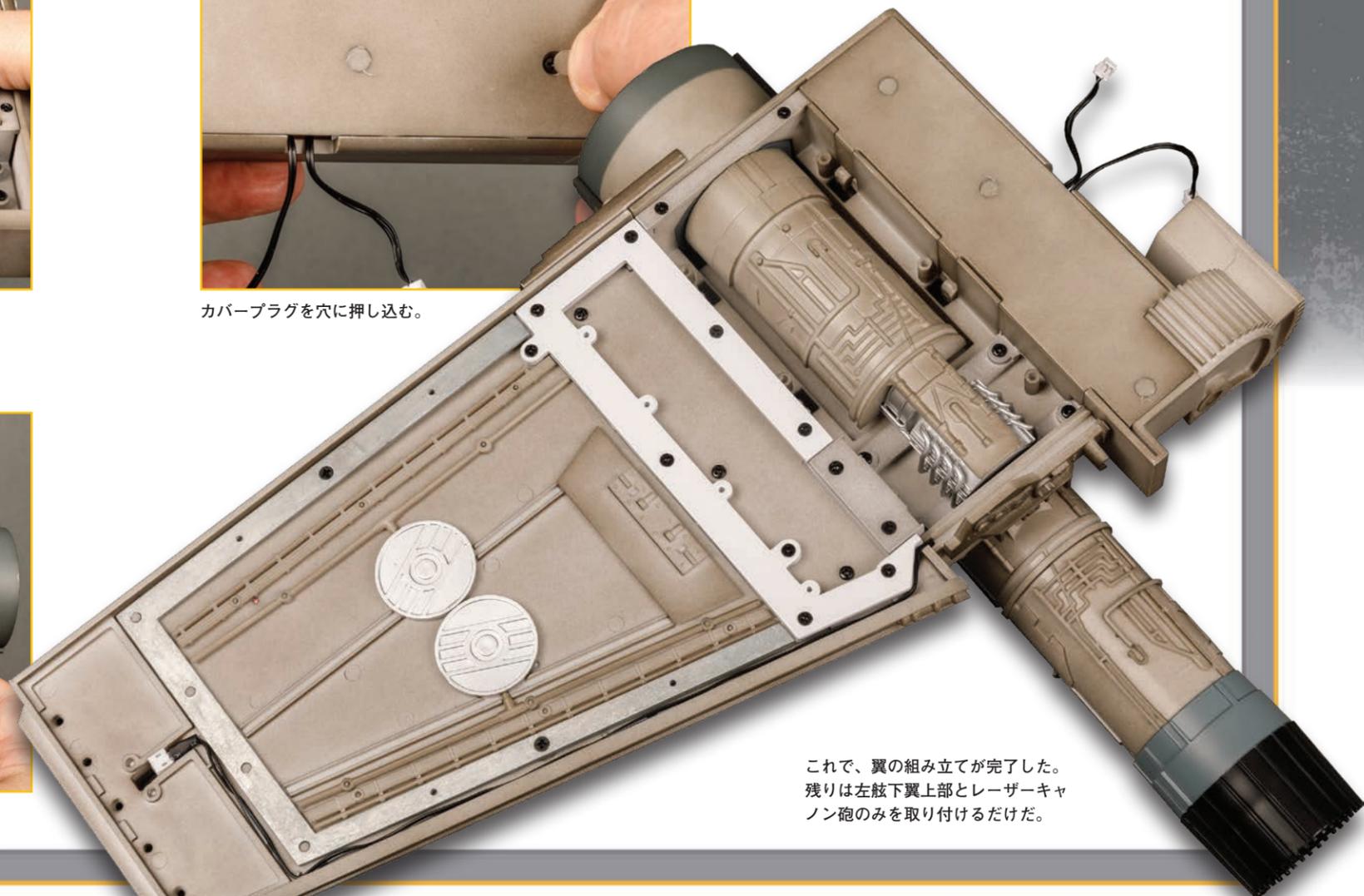
15 カバープラグを穴に押し込む。



11 左舷下翼上部を取り、写真のように翼の根と並べる。



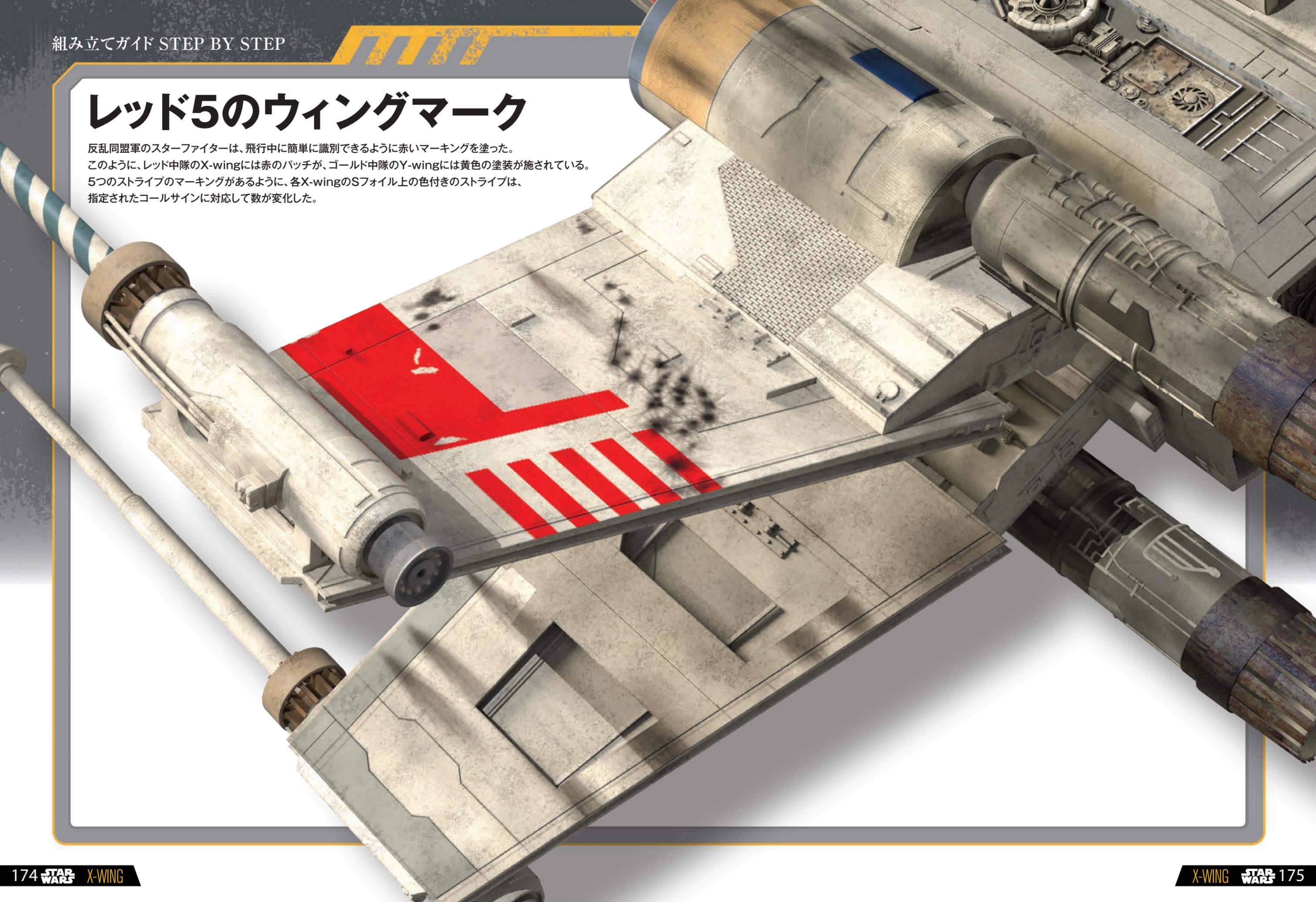
12 写真のようにしっかりと押し込む。



これで、翼の組み立てが完了した。残りは左舷下翼上部とレーザーキャノン砲のみを取り付けるだけだ。

レッド5のウィングマーク

反乱同盟軍のスターファイターは、飛行中に簡単に識別できるように赤いマーキングを塗った。
このように、レッド中隊のX-wingには赤のバッジが、ゴールド中隊のY-wingには黄色の塗装が施されている。
5つのストライプのマーキングがあるように、各X-wingのSファイル上の色付きのストライプは、
指定されたコールサインに対応して数が増えた。

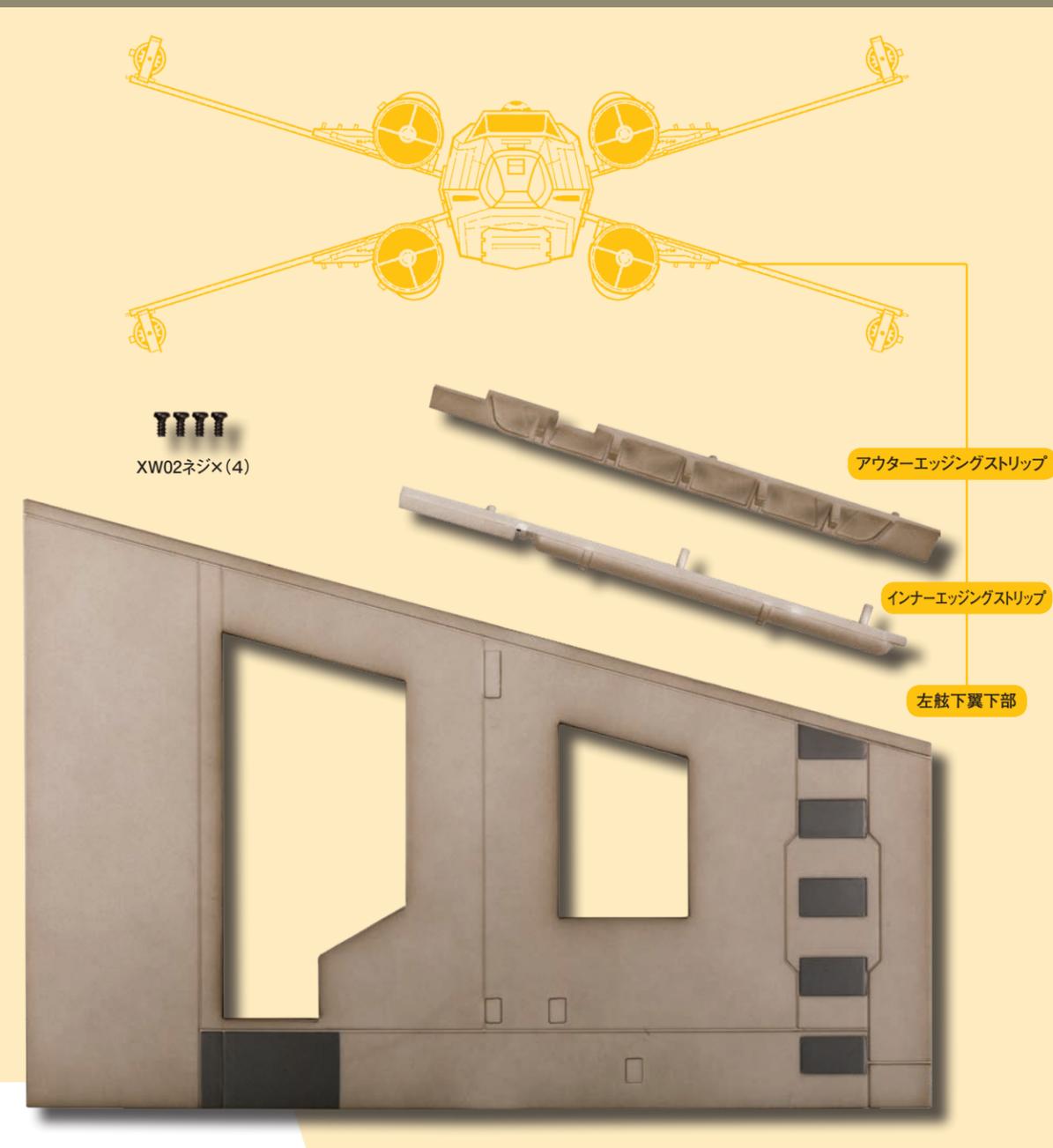


左舷下翼

このステージの主要パーツは、X-wing 左舷下翼の上面を形成するパネルである。また、この部分を完成させるために、サブライトエンジンのマウント上の凹部に収まる2つの縁取りストリップがある。

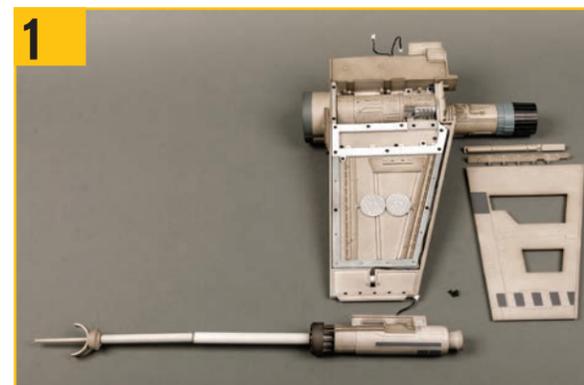
ステージ31の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

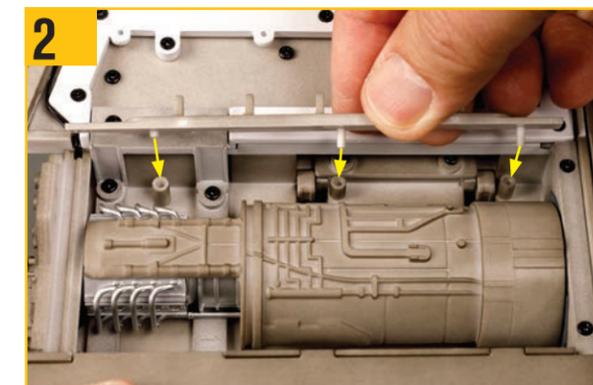


翼の組み立て

提供される部品はすべてこのステージで使用される。レーザーキャノンを取り付ける前にサブライトエンジンの下のぼみを装飾し、最後に翼フレームと電気配線を覆う左舷下翼上部を取り付ける。最後にテストを行い、密閉する。



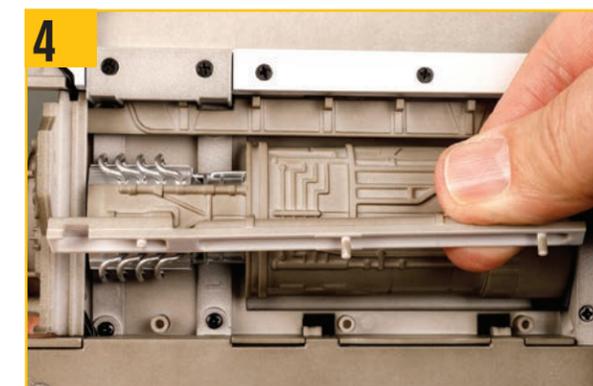
今回提供された部品を、左舷下翼上部の部品とレーザーキャノンとともに、用意する。



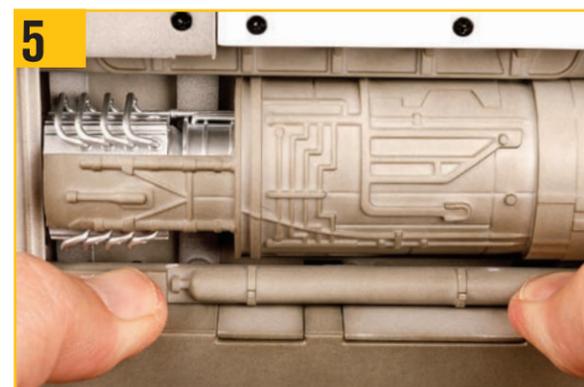
アウターエッジングストリップを用意する。写真矢印の凹部の対応する穴に合うピンが下側に3つある。



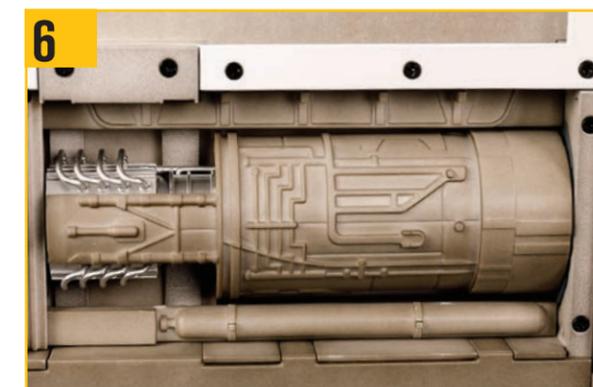
部品をしっかりと押し込む。



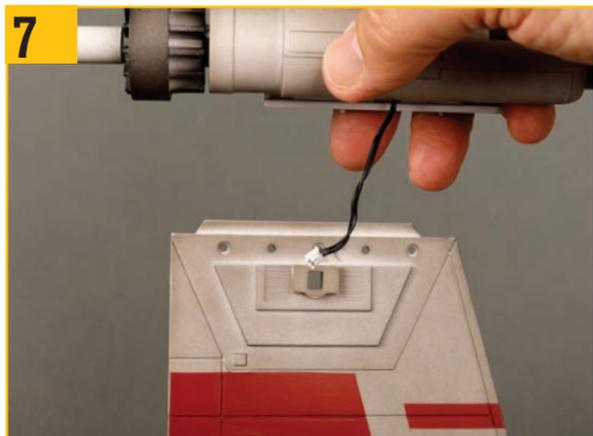
次に、インナーエッジングストリップを用意する。



ピンを写真の3つの固定穴に押し込む。



2つのエッジングストリップを取り付けると写真のようになる。



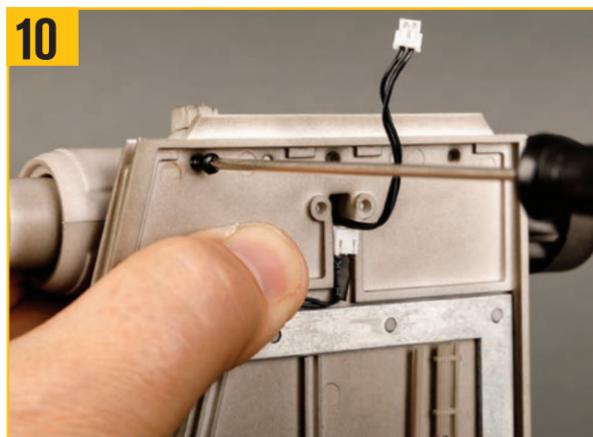
次にレーザーキャノンを用意し、ウイングチップ近くの写真の穴から通じるワイヤーの端のプラグを通す。



写真のようにワイヤーを穴に通し、翼端近くの対応する穴にレーザーキャノンの5つの取り付けラグと位置決めピンを合わせる



写真のようにピンを穴にしっかり押し込む。



そしてレーザーキャノンを写真の位置にたもちながら部品を裏返し、XW02ネジで固定する。



残りの2つもネジ止める。



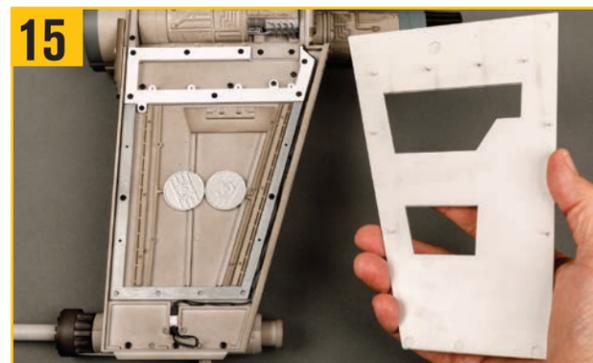
翼の溝周りを走っているワイヤーの端にあるソケットを取り、ワイヤーをレーザーキャノンからそれに差し込む。



プラグとソケットを翼の所定の位置に押し込み、余った配線をきれいに巻く。



前回使用したバッテリーボックスを用意し、翼のもう一方の端にある両方のプラグをテストし、キャノンとエンジンライトが適切に機能していることを確認する。



翼のフレームにある8つの位置決めピンを所定の位置に合わせて下翼上部を取り付ける。



穴とピンの位置を慎重に合わせ、パネルがぴったり合うまでしっかりと押し込む。



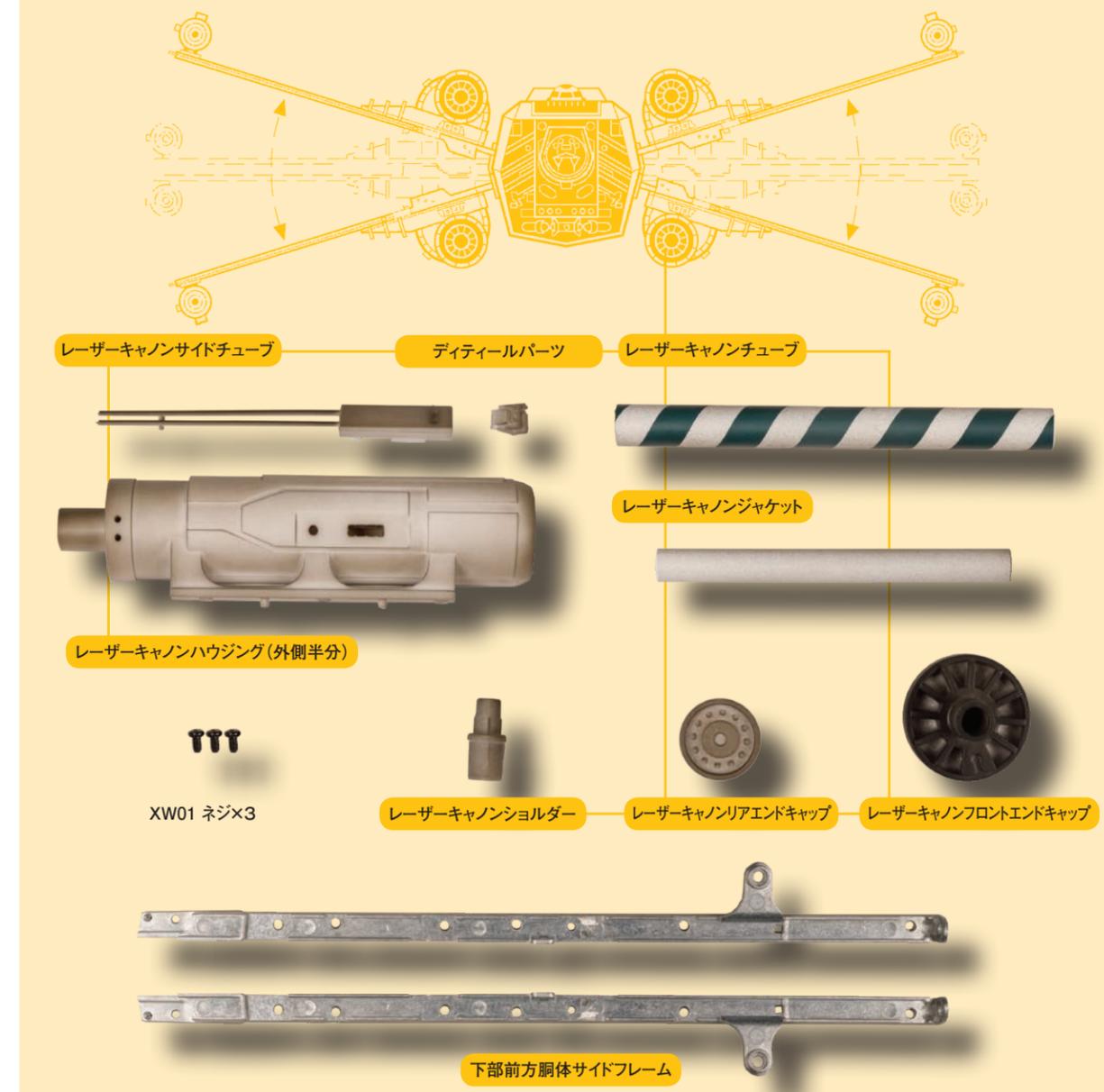
これで翼全体が完成だ。胴体に取り付けるまで安全に保管する。

右舷下翼レーザーキャノン①

このステージの部品を使用すると、3つ目のレーザーキャノンを組み立てることができる。また、胴体フレームをコックピットの前方に延長するための部品がある。

ステージ32の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。



レーザーキャノンの組み立て

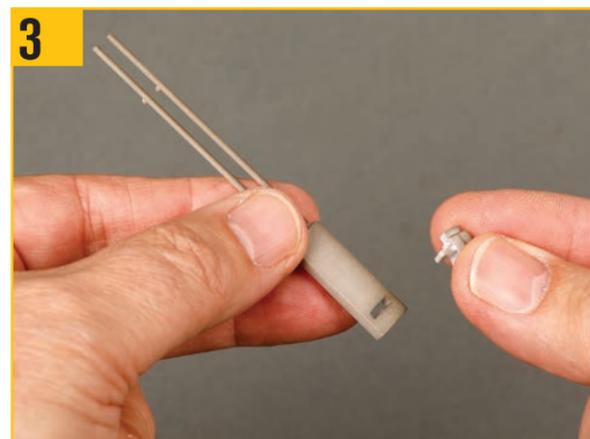
3番目のレーザーキャノンの組み立ては、部品が異なる順序で提供されているということ、このレーザーキャノンの管に独特のらせん状のねじれが描かれていることを除いて、前の2つと同様である。



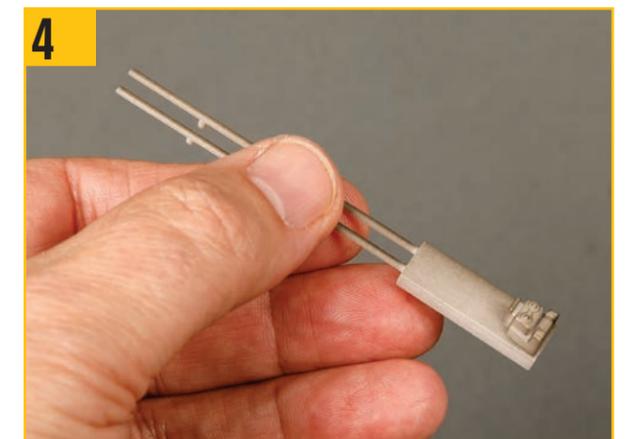
1 レーザーキャノンショルダーの肩の大きい方の端をレーザーキャノンチューブに完全に押し込むことから始める。



2 レーザーキャノンジャケットをジャケットの薄い方の端に押し込む。



3 ディテールパーツのタブをサイドチューブの対応するスロットに合わせ、部品が写真のように丸くなっていることを確認する。



4 ディテールパーツをスロットにしっかり押し込む。



5 サイドチューブのタブとピンをレーザーキャノンハウジングの対応する穴に合わせる。



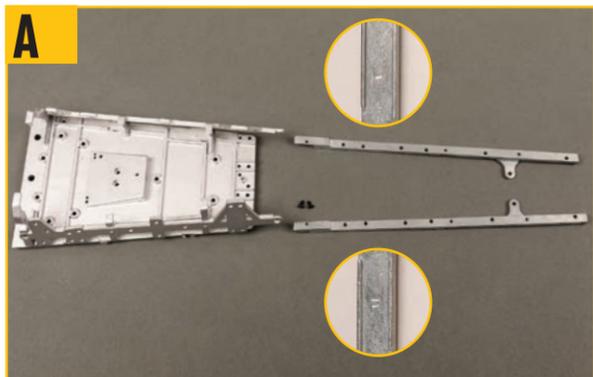
6 サイドチューブをしっかり押し込む。



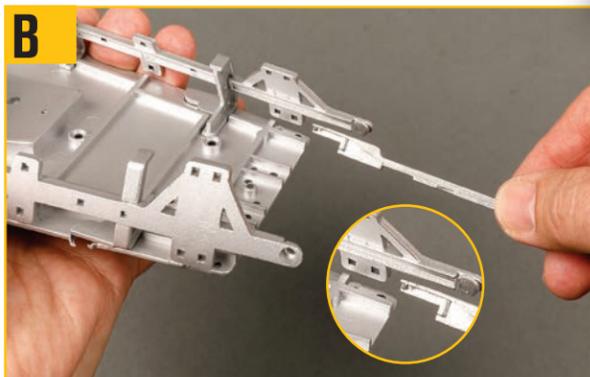
これで、このステージの組み立てが完了する。

フレームの拡張

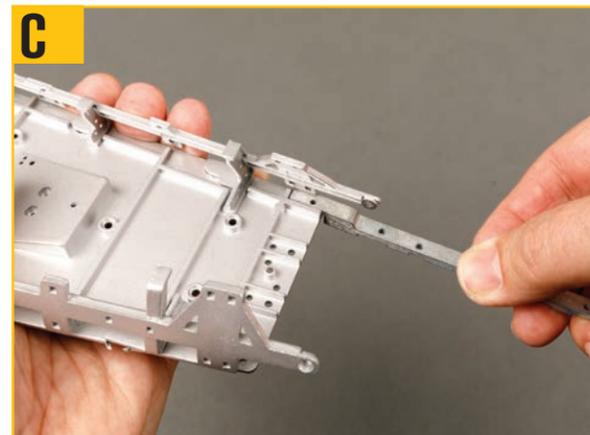
ステージ 4 で完成させたコックピットベースを使用して、このステージで提供される 2 つのサイドフレームを追加する。



A 写真のように部品を配置し、下のマーキングがどのフレームが右側 (R) に、どのフレームが左側 (L) にあるかを示す。



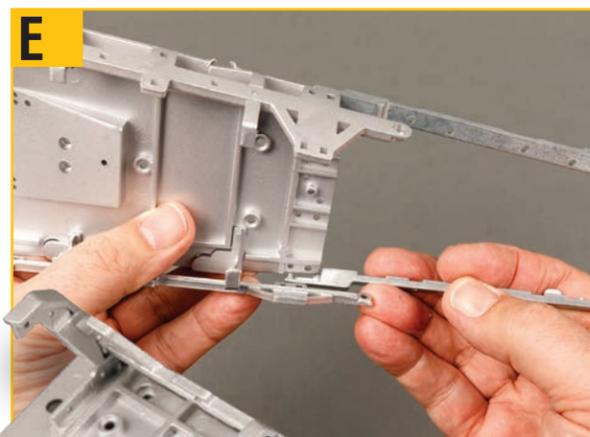
B 左フレームをコックピットベースの角に合わせ、端近くの位置決めピンとその隣のネジ穴に注意する。



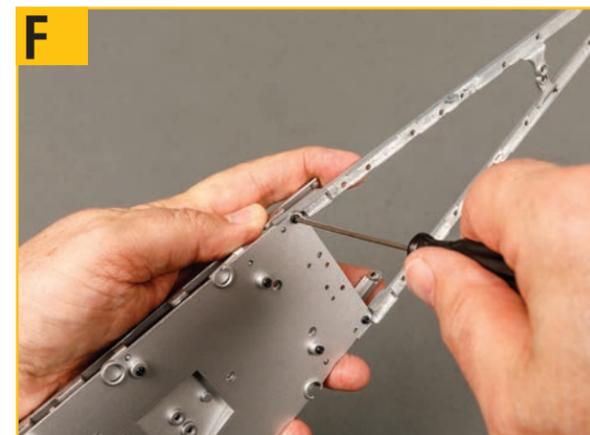
C コックピットベースの穴に位置決めピンを取り付ける。これにより、サイドフレームの他の穴とベースのネジ穴が揃う。



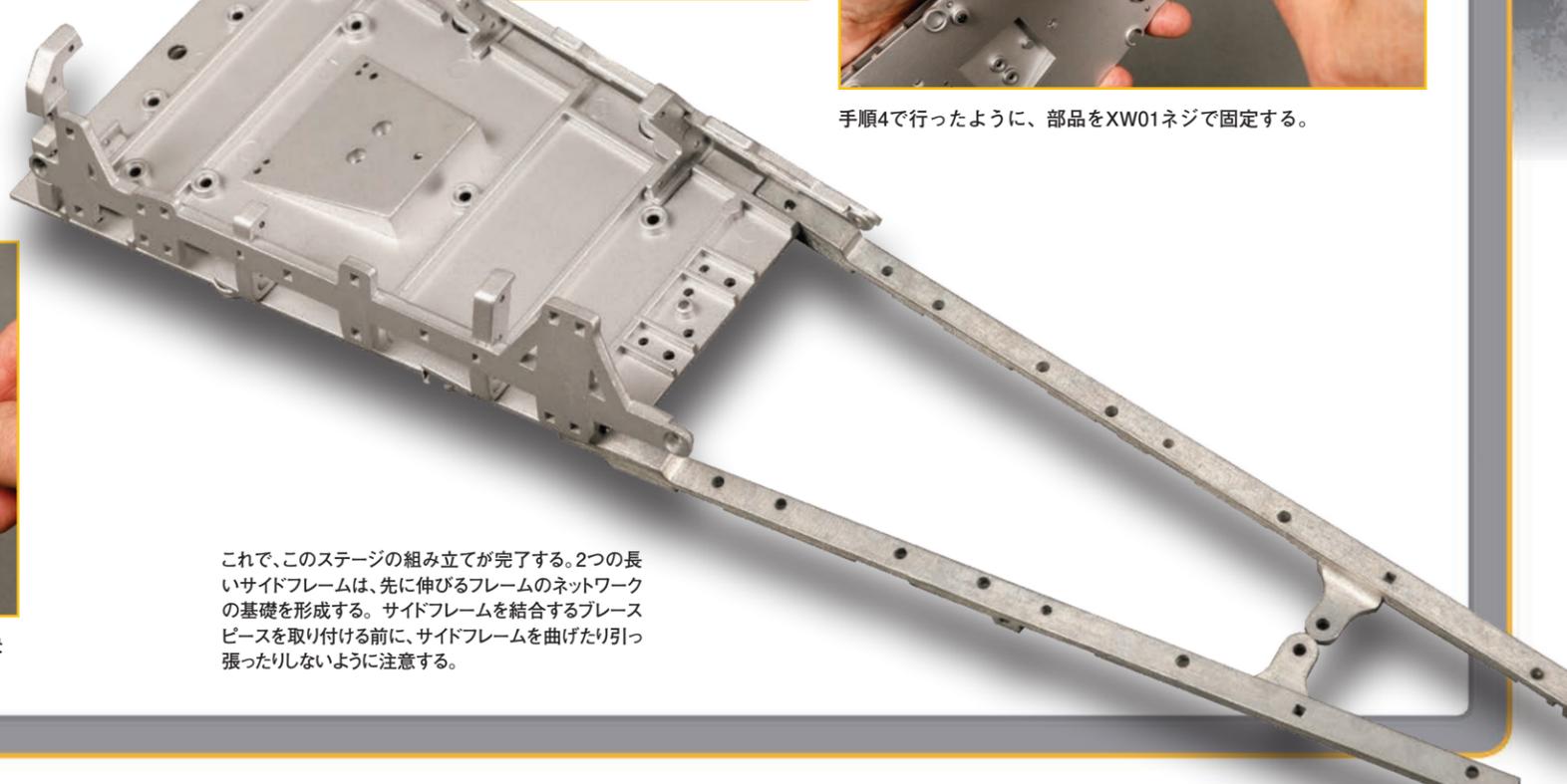
D 部品を裏返し、XW01ネジをベースからサイドフレームに差し込む。締めすぎないように注意する。



E ステップ3のように、右側フレームの端にある位置決めピンをコックピットフレームの右側の穴に取り付ける。



F 手順4で行ったように、部品をXW01ネジで固定する。



これで、このステージの組み立てが完了する。2つの長いサイドフレームは、先に伸びるフレームのネットワークの基礎を形成する。サイドフレームを結合するブレースピースを取り付ける前に、サイドフレームを曲げたり引っ張ったりしないように注意する。

機体フレームワーク

X-wingの胴体は、垂直フレームと水平縦通材に取り付けられたリブを備えた従来の航空宇宙フレームワークの周りに構築されている。 実質的な隔壁/ファイアウォールにより、コックピットとその背後のエンジニアリングコンパートメントが分離されている。これには、ハイパードライブとアストロメクリンケージ接続が含まれる。

